

製品安全性データシート

パシフィックサイエンス 株式会社

東京都 中央区銀座5-15-1

担当部門・緊急連絡先:

営業部 星野吉秀

TEL 03-3546-8080、Fax 03-3546-8188

SDS No: 10227

作成日: 2006年5月10日

【製品名】 ブレドール 695 (BREDOL 695)

【物質の特定】

単一商品・混合物の区別: 単一商品

化 学 名: ポリオキシエチレングリセリンエーテル

成分及び含有量: ポリオキシエチレングリセリンエーテル 100%

化学式又は構造式:

(これらは代表値であり規格でも全ての成分でもありません)

官報公示整理番号(化審法、安衛法): 化審法: 7-1329

消防法: 第4類第3石油類(水溶性) (危険品等級 III)

【危険有害性の分類】

分類の名称:

危 険 性: 可燃性液体

有 害 性:

環 境 影 響:

【応急措置方法】

吸入した場合: 吸入の可能性は無い。

皮膚に付着した場合: 水でよく洗浄する。必要に応じて医師の診察を受ける。

目に入った場合: すぐに緩やかな流水で最低15分間洗浄する。
異常が有る時など必要に応じて医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合: 清浄な水で口腔内をよく洗浄し、多量の水またはミルクを
飲ませる。大量に飲み込んだ時など必要に応じて
医師の診察を受ける。

[火災時の措置方法]

消火方法 : 噴霧、放水、泡若しくは粉末消火剤、炭酸ガス
移動可能な容器は火元から遠ざけ、安全な場所へ移す。
消火作業は必ず防護服を着用し、風上から行う。
引火性は低いが、火災に巻き込まれると延焼する。

特記事項 :

[漏出した場合の措置方法]

浄化方法 : 少量の漏出時には、保護具を着用し、乾燥砂、土、おがくずなどの不活性物質に吸収させて別容器に回収し、廃棄する。
残りは多量の水で洗い流す。
多量の漏出時には、保護具を着用し、盛り土で囲ってそれ以上の流出を防止し安全な場所へ導いてから、密閉できる別容器に集め取る。残りは多量の水で洗い流す。

環境に対する影響への留意点 : 流出した製品が高濃度で大量に下水、井戸、河川、海洋などに排出され、環境への悪影響を起こさない様に注意する。

[取り扱い及び保管に関する注意事項]

取り扱い : 容器を転倒させる、落下させる、衝撃を与える、引きずる等の乱暴な取扱をしない。(内容物漏洩防止)

保管 : 消防法危険物第4類第3石油類に準じ保管する。
風通しの良好な乾燥した冷暗所に保管する。
使用途中の半端容器は、使用後必ず密閉保管する。

[暴露防止措置]

設備対策 : 取扱作業所近くに手洗い、洗眼設備、シャワーなどの設置が望ましい。

人体保護具 : プラスチック製の安全眼鏡、安全ゴーグル、顔面保護具、ゴム手袋、保護衣(長袖)、作業靴

管理濃度 : 設定されていない。

[危険性情報（安定性・反応性）]

引火点	: 150 ℃以上
発火点	: 150 ℃以上
爆発限界	: 無し
可燃性	: 可燃性
発火性（自然発火性、水との反応性）	: 無し
酸化性	: 無し
自己反応性・爆発性	: 無し
粉塵爆発性	: 無し
安定性	: 安定
反応性	: 無し

[物理的・化学的特性]

外観等	: 黄色液状
沸点	: 100 ℃以上
融点	: 約 9 ℃
揮発点	: 無し
比重（20℃）	: 1.050 kg/m ³
pH（1%水溶液）	: 6.0～7.5
粘度	: 850 mPa・s（20℃）
溶解度（水、20℃）	: 溶解
（有機溶剤）	: エタノールに溶解

（以上のデータは一般性状であり、規格値ではありません）

[有害性情報（人体についての症例、疫学的情報を含む）]

皮膚腐食性	: 特に無し
刺激性（眼）	: 僅かに刺激性あり。
刺激性（皮膚）	: 長期にわたり頻繁に接触していると、 一時的に赤みを帯びたり荒れたりすることがある
感さく性	: データ無し
亜急性毒性	: データ無し
急性毒性	: 微かに急性毒性あり (LD ₅₀ ラット経口投与) 15000 mg/kg 以上
発ガン性	: データ無し
変異原性	: データ無し
生殖毒性	: データ無し
催奇形性	: データ無し
その他	:

[環境に対する影響の明細]

生 分 解 性	:
生 体 蓄 積 性	: 生体蓄積性は無いと思われる
魚毒性	: LC ₅₀ (96 時間) さかな : 100 mg/l 以上 (類似品目の試験結果からの概算)
その他	: BOD 60%以下、28日 Modified MITI Test (OECD301C) (類似品目の試験結果からの概算) COD (Mn) 未測定

〔廃棄方法に関する注意事項〕

空容器を廃棄する場合は、内容物を残さず使用し、廃棄する。

内容物を廃棄する場合は、それぞれの地域の法令に従う。

焼却できるが、専門の廃棄物処理業者に委託処理するのが好ましい。

〔輸送に関する適用法規、注意事項〕

消防法	：	第4類第3石油類（危険品等級Ⅲ）
IMDG (SEA)	：	UN No. 適用なし、Class 適用なし、 Packing Group 適用なし、EmS 適用なし MFAG 適用なし、Marine Pollutant 適用なし
IATA/ICAO(Air)	：	UN No. 適用なし、Class 適用なし Packing Group 適用なし
ADR/RID (Road/Rail)	：	UN No. 適用なし、Class 適用なし、Item No. 適用なし

〔その他の情報〕